

## 〔引用文献〕

- [1] アジア経済研究所『Input-Output Table of Thailand』統計資料シリーズ31, アジア経済研究所, 1980年。
- [2] アジア経済研究所『タイの国内人口移動』統計資料シリーズ32, アジア経済研究所, 1981年。
- [3] 家永泰光「フィリピンにおける稲多収品種による新農法成立の諸問題——稲作経営の内的メカニズムの吟味——」(『アジア経済』第11巻第4号, 1970年4月, 51~69ページ)。
- [4] 池端雪浦「フィリピンにおけるモノカルチャ経済成立の史的考察——マニラ開港を端緒とする——」(『アジア経済』第11巻第4号, 1970年4月, 70~89ページ)。
- [5] 池端雪浦「東南アジア基層社会の一形態——フィリピンのバランガイ社会について——」(『東洋文化研究所紀要』第54冊, 1971年3月, 83~163ページ)。
- [6] 池本幸生「マレーシアの所得分布に関する一考察——データの吟味と不平等化についての分析——」(『アジア経済』第26巻第11号, 1985年11月, 49~54ページ)。
- [7] 池本幸生「利潤率, 企業集中と下請関係——サイアム・モーターズ・グループの事例——」(『アジア経済』第29巻第9号, 1988年9月, 20~33ページ)。
- [8] 板垣興一編『インドネシアの政治社会構造』調査研究報告双書13, アジア経済研究所, 1961年。
- [9] 板垣興一編『インドネシアの経済社会構造』調査研究報告双書40, アジア経済研究所, 1962年。
- [10] 板垣興一編『アジアの民族主義と経済発展——東南アジア近代化の起点——』東洋経済新報社, 1962年。
- [11] 板垣興一編『南北問題の研究』(I) 研究参考資料146, アジア経済研究所, 1969年。
- [12] 市川健二郎『東南アジア農村社会の経済性向——タイ・ラオスを中心として——』アジア経済研究シリーズ47, アジア経済研究所, 1963年。
- [13] 市川健二郎「華僑経営者の価値観と行動様式——タイ工業化の人的側面——」(『アジア経済』第18巻第8号, 1977年8月, 2~16ページ)。
- [14] 伊藤禎一「日タイ合併工業の経営諸条件——タイ国民民主制下の時期を中心に——」(『アジア経済』第18巻第8号, 1977年8月, 78~88ページ)。
- [15] 伊藤禎一編『東南アジアにおける工業経営者の生成』研究双書298, アジア経

済研究所，1980年。

- [16] 伊藤定典「インドネシアの土地改革」(岸幸一・馬淵東一編『インドネシアの社会構造(その一)』調査研究報告双書172, アジア経済研究所, 1969年, 422~450ページ)。
- [17] 今岡日出紀「マレーシアにおける金融構造変化とそのマクロ経済的含意」(『アジア経済』第28巻第2号, 1987年2月, 24~43ページ)。
- [18] 今岡日出紀「財政・金融と工業化」([196]所収, 76~99ページ)。
- [19] 今堀誠二「マラヤにおける華僑社会の史的研究」(『アジア経済』第10巻第1号, 1969年1月, 29~42ページ)。
- [20] 今堀誠二『マラヤの華僑社会』研究参考資料198, アジア経済研究所, 1973年。
- [21] 入江成雄「マレーシアの経済発展とパーム油」(『アジア経済』第18巻第9号, 1977年9月, 42~57ページ)。
- [22] 岩崎育夫『シンガポールの華人系企業集団』アジアを見る眼81, アジア経済研究所, 1990年。
- [23] 岩崎輝行「西スマトラの農業労働供給」(『アジア経済』第24巻第2号, 1983年2月, 2~23ページ)。
- [24] 植村泰夫「ジャワの共同占有の解体をめぐる」(『東洋史研究』第38巻第4号, 1980年3月, 81~105ページ)。
- [25] 植村泰夫「ジャワ土地問題に関する一視点」(『東洋史研究』第41巻第3号, 1983年12月, 123~135ページ)。
- [26] 内田直作「華僑資本の前期的性格——マレーシアの陸佑財閥を中心として——」(『東洋文化』第7号, 1951年11月, 27~51ページ)。
- [27] 内田直作「マラヤ連邦の独立とその政治経済的背景」(『アジア研究』第4巻第3号, 1958年1月, 102~132ページ)。
- [28] 梅原弘光「フィリピン米作村の社会経済構造——中部ルソンにおけるハシエンダ・バリオの事例調査——」([121](II)所収, 243~318ページ)。
- [29] 梅原弘光「中部ルソンのハシエンダ・バリオ——ヌエバ・エシハ州サン・アンドレス村の事例——」(I)(II)(『アジア経済』第13巻第9号, 1972年9月, 9~28ページ; 第13巻第11号, 1972年11月, 63~84ページ)。
- [30] 梅原弘光「フィリピンにおける土地所有権確定事業に関する一考察——とくにアメリカ統治下の事業展開を中心として——」(『アジア経済』第17巻第1・2号, 1976年2月, 57~71ページ)。
- [31] 梅原弘光「フィリピンにおける私的土地所有権展開に関する一考察——スペイン土地政策との関連を中心として——」([81]所収, 317~344ページ)。
- [32] 梅原弘光「フィリピンにおける『緑の革命』と農民——中部ルソン, ヌエバ・エシハ州の1村落事例を中心として——」(『アジア経済』第19巻第9号, 1978

- 年9月、26～40ページ)。
- [33] 梅原弘光編『東南アジア農業の商業化』研究双書378, アジア経済研究所, 1989年。
- [34] 梅原弘光編『東南アジアの土地制度と農業変化』研究双書406, アジア経済研究所, 1991年。
- [35] 大木昌「西スマトラ村落における土地権について」(『一橋論叢』第72巻第1号, 1974年7月, 129～136ページ)。
- [36] 大木昌「植民地期インドネシアにおける在来鉱工業の衰退——西スマトラの事例——」(『アジア経済』第23巻第12号, 1982年12月, 50～69ページ)。
- [37] 大木昌「19世紀の中・東部ジャワにおける焼畑耕作」(『アジア経済』第28巻第7号, 1987年7月, 2～21ページ)。
- [38] 大野徹『ヒルマの社会と経済』アジアを見る眼43, アジア経済研究所, 1972年。
- [39] 大和田啓気編『アジアの土地改革(II)——セイロン・タイ・ヴェトナム・マラヤ・台湾——』調査研究報告双書41, アジア経済研究所, 1963年。
- [40] 小野沢純「ブミプトラ政策下における雇用構造の再編」(『195』所収, 285～336ページ)。
- [41] 小野沢純「新経済政策下のブミプトラ資本の再編と進展」(堀井健三編『マレーシアの社会再編と種族問題——ブミプトラ政策20年の帰結——』研究双書386, アジア経済研究所, 1989年, 75～113ページ)。
- [42] 小野沢純「工業化の担い手たち——日系企業——」(『196』所収, 159～179ページ)。
- [43] 梶田勝『タイ経済の発展構造』研究参考資料259, アジア経済研究所, 1977年。
- [44] 金子元久「インドネシアの労働力移動1961～76年——中部ジャワ州の人口流出入を中心とした分析——」(『アジア経済』第21巻第5号, 1980年5月, 2～26ページ)。
- [45] 金子元久編『アジアのマンパワーと経済成長』研究双書317, アジア経済研究所, 1983年。
- [46] 加納啓良「テサ共同体に関する一考察——『現地人土地権調査最終提要』を素材に——」(『アジア研究』第22巻第4号, 1976年1月, 34～58ページ)。
- [47] 加納啓良「ジャワ農村経済史研究の視座変換——『インボリューション』テーゼの批判的検討——」(『アジア経済』第20巻第2号, 1979年2月, 2～26ページ)。
- [48] 加納啓良『パグララン——東部ジャワ農村の富と貧困——』研究参考資料272, アジア経済研究所, 1979年。
- [49] 加納啓良『サワハン——「開発」体制下の中部ジャワ農村——』研究参考資料

- 299, アジア経済研究所, 1981年。
- [50] 加納啓良「インドネシアにおける『土地なし』農村世帯の存在形態」(滝川勉編『東南アジア農村の低所得階層』研究双書311, アジア経済研究所, 1982年, 77~114ページ)。
- [51] 加納啓良「インドネシア農村経済論」勁草書房, 1988年。
- [52] 川野重任「ファーニバル『複合経済論』の構造と批判」(『東洋文化』第1号, 1950年, 52~77ページ)。
- [53] 川野重任「土地改革の社会経済的意義——東南アジア諸国の場合——」(『東洋文化研究所紀要』第10冊, 1957年, 527~562ページ)。
- [54] 河部利夫編『東南アジア華僑社会変動論』研究参考資料183, アジア経済研究所, 1972年。
- [55] 菊池眞夫「『緑の革命』・農村間労働移動・制度的革新——フィリピンにおける一在来農村制度の展開——」(『農業総合研究』第38巻第1号, 1984年1月, 47~70ページ)。
- [56] 菊池眞夫「『緑の革命』技術の普及と評価——フィリピン・ラグナ州における稲作——」(『農業総合研究』第40巻第1号, 1986年1月, 43~100ページ)。
- [57] 菊池道樹「植民地ヴェトナムの北部農村における地主制試論」(『アジア経済』第19巻第5号, 1978年5月, 51~75ページ)。
- [58] 北原淳「タイ米作農業の経済構造——技術的後進型の一つの事例——」(I)(II)(『アジア経済』第15巻第4号, 1974年4月, 20~42ページ; 第15巻第7号, 1974年7月, 24~38ページ)。
- [59] 北原淳「タイにおける土地私有権の確定——その発生史をめぐって——」([81]所収, 241~316ページ)。
- [60] 北原淳「タイにおける『屋敷地共住集団』と集落の社会史」(『アジア経済』第26巻第11号, 1985年11月, 2~28ページ)。
- [61] 北原淳「タイ農村における耕地の所有と経営の構造——田坂=宮崎論争を手がかりに——」(『アジア経済』第28巻第7号, 1987年7月, 39~50ページ)。
- [62] 北原淳『タイ農村社会論』勁草書房, 1990年。
- [63] 木村陸男「アムプトラ政策と経済構造の変容」([195]所収, 67~137ページ)。
- [64] 口羽益生・前田成文「屋敷地共住集団と家族圏」(『東南アジア研究』第18巻第2号, 1980年9月, 186~205ページ)。
- [65] 口羽益生・坪内良博・前田成文編『マレー農村の研究』創文社, 1976年。
- [66] 倉沢愛子「日本軍政下のジャワにおける米穀流通政策」(『アジア経済』第21巻第11号, 1980年11月, 2~23ページ)。
- [67] 倉田勇「インドネシアの土地制度と村落共同体」(I)(II)([121](I)所収, 167~203ページ; [121](II)所収, 117~140ページ)。

- [68] 倉田勇「インドネシア慣習法学と村落研究覚書——C. van Vollenhoven の『慣習法の発見』などを中心として——」(滝川勉編『東南アジア農業問題研究の現状』研究参考資料150, アジア経済研究所, 1970年, 133~166ページ)。
- [69] 小池賢治「フィリピンの財閥経営——ソリアノ財閥の『ゼネラル・マネージャー制度』を中心として——」(『アジア経済』第24巻第12号, 1983年12月, 76~99ページ)。
- [70] 小池賢治「フィリピンの企業者活動——ソリアノ財閥の創始者A・ソリアノを中心として——」(『アジア経済』第25巻第5・6号, 1984年6月, 170~193ページ)。
- [71] 小池賢治編『アジアの公企業——官営ビッグ・ビジネスのパフォーマンス——』研究双書304, アジア経済研究所, 1982年。
- [72] 小林伸夫「フィリピンにおける産業再編とビジネス・リーダーシップ」(伊藤禎一編『途上国のビジネス・リーダーシップ』研究双書322, アジア経済研究所, 1984年, 103~134ページ)。
- [73] 小林伸夫『激動するフィリピン——転換期の社会・経済——』勁草書房, 1985年。
- [74] 斎藤一夫編『緑の革命とアジア農業』調査研究双書205, アジア経済研究所, 1972年。
- [75] 斎藤一夫「マレーシアにおけるパーム油産業の発展」(『アジア経済』第18巻第9号, 1977年9月, 30~41ページ)。
- [76] 斎藤照子「コンバウン朝ビルマの土地保有制度と社会構成——財源調査(シッターン)の分析を中心に——」([34]所収, 107~148ページ)。
- [77] 斎藤照子「ビルマの灌漑農業」([180]所収, 153~178ページ)。
- [78] 斎藤照子「ビルマの粃米供出制度と農家経済——チュンガレー村の事例——」(『アジア経済』第20巻第6号, 1979年6月, 2~25ページ)。
- [79] 斎藤照子「下ビルマ米作村の農業労働者——チュンガレー村におけるその実態——」(『アジア経済』第21巻第11号, 1980年10月, 76~91ページ)。
- [80] 斎藤照子「18~19世紀, 上ビルマ土地制度史——規範と現実: その予備的考察——」(『アジア経済』第30巻第5号, 1989年5月, 2~20ページ)。
- [81] 斎藤仁編『アジア土地政策論序説』調査研究双書234, アジア経済研究所, 1976年。
- [82] 桜井由躬雄「19世紀初期ヴェトナム村落内土地占有状況の分析——嘉隆四年山南下鎮地簿を中心として——」(『東南アジア——歴史と文化——』第6巻, 1976年, 32~61ページ)。
- [83] 桜井由躬雄『ベトナム村落の形成——村落共有田=コンディエン制の史的展開——』創文社, 1987年。
- [84] 猿渡啓子「マレーシアの現地化政策とイギリスの商社——サイム・ダービー

- の事例——」 ([195] 所収, 207~234ページ)。
- [85] 猿渡啓子「独立後マレーシアの商品作物栽培業におけるイギリス商社の合理化政策」(堀井健三編『マレーシアの社会再編と種族問題——ブミプトラ政策20年の帰結——』研究双書386, アジア経済研究所, 1989年, 161~192ページ)。
- [86] 重松伸司「マラヤにおけるタミル移民と『社会改革運動』——南インド『タミル自尊運動』との比較による——」(重松伸司編著『現代アジア移民——その共生原理を求めて——』名古屋大学出版会, 1986年, 157~205ページ)。
- [87] 重富真一「一次産品取引における情報伝達——タイ産天然ゴムの品質改善を中心に——」(『アジア経済』第29巻第12号, 1988年12月, 2~23ページ)。
- [88] 清水元「戦前期シンガポール・マラヤにおける邦人経済進出の形態——職業別人口調査を中心として——」(『アジア経済』第26巻第3号, 1985年3月, 13~32ページ)。
- [89] 清水元編『两大戦間期日本・東南アジア関係の諸相』研究双書346, アジア経済研究所, 1986年。
- [90] 末廣昭「タイ繊維産業と日系多国籍企業——輸入代替期7大グループの競争と寡占——」(『アジア経済』第20巻第1号, 1979年1月, 2~35ページ)。
- [91] 末廣昭「タイの農地改革——1975年農地改革法の背景と概要——」([123] 所収, 129~161ページ)。
- [92] 末廣昭「タイ系企業集団の資本蓄積構造——製造業グループを中心として——」(『アジア経済』第25巻第10号, 1984年10月, 2~32ページ)。
- [93] 末廣昭「タイにおけるライス・ビジネスの展開——戦前を中心として——」(アジア・低開発地域農業問題研究会編『第三世界農業の変貌』勁草書房, 1986年, 87~119ページ)。
- [94] Suehiro, Akira, *Capital Accumulation in Thailand 1855-1985*, 東京, UNESCO, The Centre for East Asian Cultural Studies, 1989.
- [95] 末廣昭・安田靖編『タイの工業化——NAICへの挑戦——』アジア工業化シリーズ3, アジア経済研究所, 1987年。
- [96] 杉本忠利『インドネシアの食糧問題』アジアを見る眼48, アジア経済研究所, 1975年。
- [97] 鈴木長年編『アジアの経済発展と中小工業』研究参考資料251, アジア経済研究所, 1977年。
- [98] 鈴木長年編『アジアの経済発展と輸出指向工業化』調査研究双書223, 1974年。
- [99] 隅谷三喜男編『フィリピンの労働事情』研究参考資料18, アジア経済研究所, 1962年。
- [100] 隅谷三喜男編『フィリピンの経済構造と労働構造』研究参考資料32, アジア経済研究所, 1962年。

- [101] 須山卓・市川信愛『華僑社会の特質と幫派——その歴史的変容過程の研究——』長崎大学東南アジア研究所, 1976年。
- [102] 関本照夫「二者関係と経済取引——中部ジャワ村落経済生活の研究——」(『国立民族学博物館研究報告』第5巻第2号, 1980年6月, 376~409ページ)。
- [103] 高梨博昭『マレーシアの金融事情』調査研究双書206, アジア経済研究所, 1973年。
- [104] 高橋昭雄「植民地統治下の下ビルマにおける『工業的農業』の展開——ファーンニバル説の再検討——」(『アジア経済』第26巻第11号, 1985年11月, 29~48ページ)。
- [105] 高橋昭雄「下ビルマ米作村における農地政策の展開, 1957~1987年」(『アジア経済』第31巻第2号, 1990年2月, 2~18ページ)。
- [106] 高橋昭雄「ビルマ式社会主義下の農地保有——下ビルマー米作村の事例——」(『アジア経済』第31巻第3号, 1990年3月, 27~44ページ)。
- [107] 高橋昭雄「上ビルマ灌漑村における農地保有と農産物の商品化——下ビルマとの比較——」([34]所収, 149~188ページ)。
- [108] 高橋彰「賃労働の形成」([99]所収, 159~286ページ)。
- [109] 高橋彰「フィリピンの土地改革」(大和田啓気編『アジアの土地改革』(I)調査研究報告双書23, アジア経済研究所, 1962年, 277~349ページ)。
- [110] 高橋彰「中部ルソンの米作農村——カトリナン村の社会経済構造——」研究参考資料85, アジア経済研究所, 1965年。
- [111] 高橋彰「フィリピン農村構造に関する一考察」(『東洋文化』第43号, 1967年, 49~76ページ)。
- [112] 高橋彰「フィリピン農村の構造変化と賃労働者層」(『アジア経済』第18巻第6・7号, 1977年7月, 4~28ページ)。
- [113] 高橋保「カンボジアにおける農業水利事業の歴史的展開」(『アジア経済』第8巻第11号, 1967年11月, 27~48ページ)。
- [114] 高橋保「カンボジアにおける農業水利事業の成果と課題」(『アジア経済』第9巻第8号, 1968年8月, 60~81ページ)。
- [115] 高橋保「仏領インドシナにおける外国資本」(大塚久雄編『後進経済発展の史的的研究』〈そのII〉, アジア経済研究所所内資料〈調査研究部45-3〉, 1970年, 257~337ページ)。
- [116] 滝川勉『フィリピンの土地制度と小作立法の展開』研究参考資料43, アジア経済研究所, 1962年。
- [117] 滝川勉「フィリピン土地制度史序説」(『農業総合研究』第17巻第1号, 1963年, 1~64ページ)。
- [118] 滝川勉「フィリピンの土地改革に関する覚え書」(『アジア経済』第5巻第10号, 1964年10月, 2~16ページ)。

- [119] 滝川勉「東南アジアにおける土地改革の基本性格」(『アジア研究』第13巻第2号, 1966年7月, 23~43ページ)。
- [120] 滝川勉『戦後フィリピン農地改革論』調査研究双書231, アジア経済研究所, 1976年。
- [121] 滝川勉・斎藤仁編『アジアの土地制度と農村社会構造』(I)(II) 研究参考資料111, 128, アジア経済研究所, 1966, 1967年。
- [122] 滝川勉・斎藤仁編『アジアの土地制度と農村社会構造』調査研究報告双書167, アジア経済研究所, 1968年。
- [123] 滝川勉編『東南アジア農村社会構造の変動』研究参考資料289, アジア経済研究所, 1980年。
- [124] 滝川勉編『東南アジアの農業変化と農民組織——序説的考察——』研究双書327, アジア経済研究所, 1985年。
- [125] 竹村正子「下ヒルマ・デルタ地方における農民負債と土地集中——1920~30年代を中心に——」(『アジア経済』第17巻第10号, 1976年10月, 54~75ページ)。
- [126] 竹村正子「下ヒルマ・デルタ地域の稲作経営と大恐慌の影響」(『アジア経済』第20巻第9号, 1979年9月, 44~68ページ)。
- [127] 田坂敏雄「タイにおける相続慣行と借地関係」(『アジア・アフリカ研究』第23巻第2号, 1983年2月, 2~20ページ)。
- [128] 田坂敏雄「タイにおける農地貸借の類型と性格——宮崎猛氏の所説と関連して——」(『アジア経済』第27巻第2号, 1986年2月, 39~47ページ)。
- [129] 田坂敏雄『タイ農民層分解の研究』御茶の水書房, 1991年。
- [130] 田中拓男「経済発展と輸入依存度——小島法則批判と谷型変化傾向——」(『アジア経済』第6巻第12号, 1965年12月, 31~44ページ)。
- [131] 田中拓男「発展途上国における工業発展パターンとその規定因」(『アジア経済』第8巻第4号, 1967年4月, 30~48ページ)。
- [132] 田中忠治「タイの農家負債問題」(『アジア経済』第4巻第6号, 1963年6月, 22~39ページ)。
- [133] 田中忠治『タイの農業開発——開発政策と農村の現状——』研究参考資料82, アジア経済研究所, 1965年。
- [134] 田中忠治「タイの農村社会と農業開発——農村社会における取引慣行を中心として——」(『アジア経済』第9巻第6号, 1968年6月, 9~24ページ)。
- [135] 田中忠治「タイ工業化の根本的課題——政策主体の価値観との関連において——」(『アジア経済』第12巻第7号, 1971年7月, 33~48ページ)。
- [136] 田辺繁治「Chao Phraya デルタの運河開発に関する一考察 (II) ——19世紀末葉における変容過程——」(『東南アジア研究』第11巻第2号, 1973年9月, 191~222ページ)。



- [137] 玉城哲編『灌漑農業社会の諸形態』研究参考資料280, アジア経済研究所, 1979年。
- [138] 田村喜照編『タイの公企業』調査研究報告双書47, アジア経済研究所, 1963年。
- [139] 辻井博「タイ国ライス・プレミアム政策の実証的経済分析」(『東南アジア研究』第13巻第3号, 1975年12月, 358~384ページ)。
- [140] 津田守「フィリピンにおける近代的工業発展と新興財閥の形成——デルタ・モーターとシルヴェリオの事例——」([15] 所収, 295~351ページ)。
- [141] 東南アジア研究会編『社会科学と東南アジア』勁草書房, 1987年。
- [142] 東南アジア研究センター「マラヤ稲作シンポジウム特集号」(『東南アジア研究』第2巻第3号, 1965年1月)。
- [143] 友杉孝「北部タイ米作農村の社会経済構造」([121] (I) 所収, 245~291ページ)。
- [144] 友杉孝「タイ土地制度史ノート——タイ農村社会史の試み——」([121] (II) 所収, 61~115ページ)。
- [145] 友杉孝「中部タイ米作村落の変容過程——土地所有を中心として——」([122] 所収, 179~242ページ)。
- [146] 友杉孝「タイの灌漑農業」([180] 所収, 117~152ページ)。
- [147] 友杉孝・高谷好一「東北タイにおける水田の三類型について——地形と水田拡張の型——」(『アジア経済』第13巻第9号, 1972年9月, 66~72ページ)。
- [148] 鳥居高「製造業における資本所有構造の再編過程——自動車産業の事例研究——」(堀井健三編『マレーシアの社会再編と種族問題——アムプトラ政策20年の帰結——』研究双書380, アジア経済研究所, 1989年, 115~160ページ)。
- [149] 鳥居高「電子産業——ICとテレビ生産基地化——」([196] 所収, 242~272ページ)。
- [150] 内藤能房「中部ジャワにおける土地保有と村落の<sup>デサ</sup>土地処分権について」(『一橋論叢』第72巻第5号, 1974年11月, 58~65ページ)。
- [151] 内藤能房「19世紀後半のジャワにおける人口と耕地——ギアツ『インポリュウション』説との関連において——」(『オイコノミカ』第18巻第2号, 1981年9月, 33~61ページ)。
- [152] 永野善子「19世紀後半におけるフィリピン糖業の発展——ネグロス島甘蔗アシエンダ経営を中心に——」(『アジア経済』第17巻第10号, 1976年10月, 34~53ページ)。
- [153] 永野善子『フィリピン経済史研究——糖業資本と地主制——』勁草書房, 1986年。
- [154] 野中耕一「タイにおける“トウモロコシ”生産地帯の成立」(『アジア経済』第9巻第6号, 1968年6月, 25~41ページ)。

- [155] 野中耕一「タイ国の農業不安と農民移動について」(『アジア研究』第16巻第2号, 1969年7月, 21~43ページ)。
- [156] 萩原宜之「マラヤにおけるゴムの発展と植替え政策の形成過程」(『アジア研究』第15巻第2号, 1968年7月, 1~34ページ)。
- [157] 萩原宜之「ゴム小農と植替え政策」(『アジア経済』第10巻第5号, 1969年5月, 4~21ページ)。
- [158] 長谷川善彦『タイの米穀事情』アジア経済研究シリーズ32, アジア経済研究所, 1962年。
- [159] 長谷川善彦『タイ農業の真実』アジアを見る眼5, アジア経済研究所, 1966年。
- [160] 林俊昭「マレーシア」(アジア経済研究所編『発展途上国の自動車産業』研究参考資料282, 1980年, 174~195ページ)。
- [161] 林俊昭「マレーシア」(アジア経済研究所編『発展途上国の繊維産業』研究双書295, 1980年, 233~260ページ)。
- [162] 林俊昭編『シンガポールの工業化——アジアのビジネス・センター——』アジア工業化シリーズ11, アジア経済研究所, 1990年。
- [163] 林利宗編『インドネシアの金融事情』調査研究双書214, アジア経済研究所, 1973年。
- [164] Hayami, Y. & M. Kikuchi, *Asian Village Economy at the Crossroads*, 東京, University of Tokyo Press, 1981年。
- [165] 原覺天『アジア経済発展論』日本経済新聞社, 1975年。
- [166] 原不二夫「ペナンの露天商——都市における一つの就業形態と失業問題——」(I) (II) (『アジア経済』第16巻第1号, 1975年1月, 80~88ページ; 第16巻第2号, 1975年2月, 73~85ページ)。
- [167] 原不二夫「英領マラヤへの日本人初期農業移民」(『アジア経済』第26巻第7号, 1985年7月, 2~14ページ)。
- [168] 原不二夫『英領マラヤの日本人』研究双書347, アジア経済研究所, 1986年。
- [169] 原不二夫「新経済政策下の華人企業」(『195』所収, 177~206ページ)。
- [170] 原洋之介「インドネシアのインフレーションと経済成長: 1960~69年——経済発展の機構の実証分析(その1)——」(『東洋文化研究所紀要』第62冊, 1974年2月, 1~70ページ)。
- [171] 原洋之介「ジャワ米穀経済への高収量品種の移転・普及・定着——経済発展の機構の実証分析(その2)——」(『東洋文化研究所紀要』第69冊, 1976年3月, 55~95ページ)。
- [172] 原洋之介「経済成長の加速度——マレーシアと韓国の比較——」(『東洋文化研究所紀要』第85冊, 1981年3月, 1~48ページ)。
- [173] 原洋之介『クリフォード・ギアツの経済学』リプロポート, 1985年。

- [174] 原田忠夫編『シンガポールの中国人企業』外国の企業6, アジア経済研究所, 1967年。
- [175] 原田忠夫編『シンガポールの創始産業』外国の企業12, アジア経済研究所, 1969年。
- [176] 広野良吉『シンガポールにおける労働移動の特性』研究参考資料120, アジア経済研究所, 1967年。
- [177] 深沢八郎編『インドネシア, マレーシアにおけるプランテーションの発展と変貌』研究参考資料78, アジア経済研究所, 1965年。
- [178] 福井清一「伝統的労働慣行の変容に関する均衡論的分析」(『アジア経済』第21巻第6号, 1980年6月, 78~87ページ)。
- [179] 福島光丘編『フィリピン工業化——再建への模索——』アジア工業化シリーズ9, アジア経済研究所, 1989年。
- [180] 福田仁志編『アジアの灌漑農業——その歴史と論理——』調査研究双書233, アジア経済研究所, 1976年。
- [181] 藤本彰三「マレー人稲作農民の土地制度と地主・小作関係」(『アジア経済』第22巻第7号, 1981年7月, 2~20ページ)。
- [182] 藤本彰三「マレー稲作農村におけるザガット制度の再評価」(『アジア経済』第24巻第8号, 1983年8月, 32~47ページ)。
- [183] 藤本彰三「マレーシア農業近代化と農民組織——とくに1973年以降の展開を中心に——」([124] 所収, 139~164ページ)。
- [184] 藤森英男「フィリピン公営企業」(森村勝編『アジア諸国の企業体制と経営』経済協力調査資料23, アジア経済研究所, 1972年, 155~177ページ)。
- [185] 藤森英男「フィリピンにおける木材産業の現状と存立条件」([190] 所収, 211~247ページ)。
- [186] 藤森英男編『アジア諸国の輸出加工区』研究参考資料268, アジア経済研究所, 1978年。
- [187] 藤森英男編『アジア諸国の現地化政策——展開と課題——』経済協力シリーズ136, アジア経済研究所, 1987年。
- [188] 藤森英男編『発展途上国の現地化政策——環境変化と企業の対応——』経済協力シリーズ138, アジア経済研究所, 1988年。
- [189] 舟橋尚道編『マラヤ・インドネシアの労働事情』調査研究報告双書42, アジア経済研究所, 1963年。
- [190] 逸見謙三編『アジアの工業化と一次産品加工』アジア経済調査研究双書225, アジア経済研究所, 1975年。
- [191] 堀井健三「マレーシア米作地帯における地主・小作関係の実態と性格——ケダー州, スンガイ・ブショール村の事例——」(『アジア経済』第12巻第10号, 1971年10月, 18~47ページ)。

- [192] 堀井健三「マレーシアの稲作灌漑と村落社会」(〔137〕所収, 91~121ページ)。
- [193] 堀井健三「FELDA (マレーシア) オイル・パーム入植地における栽培組織と所得配分——ブロック・システムの実態調査事例——」(『アジア経済』第24巻第8号, 1983年8月, 2~31ページ)。
- [194] 堀井健三「稲作および小農商品作物生産の展開とブミプトラ政策」(堀井健三編『マレーシアの社会再編と種族問題——ブミプトラ政策20年の帰結——』研究双書386, アジア経済研究所, 1989年, 245~286ページ)。
- [195] 堀井健三・萩原宜之編『現代マレーシアの社会・経済変容——ブミプトラ政策の18年——』研究双書370, アジア経済研究所, 1988年。
- [196] 堀井健三編『マレーシアの工業化——多民族国家と工業化の展開——』アジア工業化シリーズ12, アジア経済研究所, 1991年。
- [197] 前田成文「マラヤ原住民の経済生活——オラン・フル(ジャクン)の場合——」(『アジア経済』第10巻第5号, 1969年5月, 83~103ページ)。
- [198] 間亭谷栄「バリ村落の基本構造」(『アジア経済』第16巻第10号, 1975年10月, 2~22ページ)。
- [199] 松尾大「ジャワ綿織物工業史」(『アジア経済』第8巻第6号, 1967年6月, 49~74ページ)。
- [200] 松尾弘編『マラヤの華僑と印僑』調査研究報告書8, アジア経済研究所, 1961年。
- [201] 松尾弘編『マラヤ・シンガポールの経済開発』調査研究報告書29, アジア経済研究所, 1962年。
- [202] 水野浩一「稲作農村の社会組織」(石井米雄編『タイ国——ひとつの稲作社会——』創文社, 1975年, 46~82ページ)。
- [203] 水野浩一著, 前田成文・坪内良博編『タイ農村の社会組織』創文社, 1981年。
- [204] 水野広祐「1970年代後半におけるインドネシア土地紛争とその特質」(滝川勉編『東南アジア農村の低所得階層』研究双書311, アジア経済研究所, 1982年, 161~192ページ)。
- [205] 水野広祐「東ジャワにおける土地なし非農家世帯の存立条件——農業動態研究報告を中心に——」(〔124〕所収, 239~284ページ)。
- [206] 水野広祐「インドネシアにおける稲作農業の展開と商品化のパターン——西ジャワの北部平野部とブリアンガン高地——」(〔33〕所収, 115~161ページ)。
- [207] 水野広祐「西ジャワ農村における土地所有権の確認書類保有状況」(〔34〕所収, 251~308ページ)。
- [208] 南亮三郎編『マラヤ・シンガポールの人口構造』アジア経済研究シリーズ49, アジア経済研究所, 1963年。

- [209] 南亮三郎編『インドネシアの人口と経済』調査研究双書144, アジア経済研究所, 1967年。
- [210] 南亮三郎編『タイ・ビルマの人口と経済』調査研究双書207, アジア経済研究所, 1972年。
- [211] 三平則夫「インドネシアにおける金融機構の形成と1960年代の経済」(1)  
(2) (『アジア経済』第13巻第4号, 1972年4月, 32~58ページ; 第13巻第5号, 1972年5月, 52~76ページ)。
- [212] 三平則夫「インドネシア」(アジア経済研究所編『発展途上国の繊維産業』研究双書295, 1980年, 261~308ページ)。
- [213] 三平則夫「インドネシア」(アジア経済研究所編『発展途上国の電機・電子産業』研究双書305, 1981年, 281~300ページ)。
- [214] 三平則夫編『インドネシア——輸出主導型成長への展望——』ASEAN等現地研究シリーズ8, アジア経済研究所, 1990年。
- [215] 宮崎猛「東北タイ農村における農地貸借と農業共同経営に関する経済分析——コンケン県ドンデーン集落を事例として——」(『アジア経済』第25巻第11号, 1984年11月, 46~60ページ)。
- [216] 宮崎猛「東北タイ農村における共同経営と土地所有——田坂敏雄氏の批判に答えて——」(『アジア経済』第28巻第1号, 1987年1月, 2~15ページ)。
- [217] 宮原幸則「高収量品種の出現についての試論——フィリピン稲作のばあい——」(『アジア経済』第10巻第4号, 1969年4月, 2~12ページ)。
- [218] 宮本謙介「中部ジャワにおける地主制の形成と甘蔗プランテーション」(『一橋論叢』第81巻第5号, 1979年5月, 90~109ページ)。
- [219] 宮本謙介「オランダ植民地支配とジャワ社会の再編成——19世紀の土地制度を中心に——」(『歴史学研究』第497号, 1981年10月, 1~14ページ)。
- [220] 村井吉敬「インドネシアにおけるピマス計画と農業労働」(『アジア経済』第18巻第6・7号, 1977年7月, 29~50ページ)。
- [221] 村井吉敬「インドネシアの民衆生業」(『アジア研究』第24巻第4号, 1978年1月, 57~82ページ)。
- [222] 村野勉「ベトナム民主共和国独立初期の土地政策——1945~1953年——」(『アジア経済』第14巻第8号, 1973年8月, 76~101ページ)。
- [223] 村野勉「北ベトナムの土地改革」([81] 所収, 67~114ページ)。
- [224] 安田信之「1970年代シンガポール・マレーシアにおける会社法の発展」(I)  
(II) (『アジア経済』第20巻第7号, 1979年7月, 24~37ページ; 第20巻第9号, 1979年9月, 69~82ページ)。
- [225] 安田信之『フィリピンの法・企業・社会』経済協力シリーズ118, アジア経済研究所, 1985年。
- [226] 八幡成美・水野順子『日系進出企業と現地企業との企業間分業構造と技術移

- 転——タイの自動車産業を事例として——』経済協力シリーズ142, アジア経済研究所, 1988年。
- [227] 山澤逸平「タイ繊維産業輸出化の分析」(『経済学研究』〈一橋大学研究年報〉第23巻, 1981年, 211~254ページ)。
- [228] 山澤逸平・平田章編『発展途上国の工業化と輸出促進政策』研究双書362, アジア経済研究所, 1988年。
- [229] 山下政信「マレーシア稲作農家の経営と経済——ムダ水稻二期作地帯の事例——」(『アジア経済』第19巻第10号, 1978年10月, 2~23ページ)。
- [230] 山下政信「水稻二期作にともなう労働力利用の変化——マレーシア, ムダかんがい地区の事例——」(『アジア経済』第19巻第12号, 1978年12月, 2~20ページ)。
- [231] 山田秀雄「マラヤ・ゴム栽培業史覚書」(『経済研究』第26巻第3号, 1975年7月, 256~272ページ)。
- [232] 山田秀雄「イギリス資本とマラヤ経済史」(『経済研究』第16巻第4号, 1965年10月, 339~351ページ)。
- [233] 山田秀雄「マラヤ植民地化の起源と錫」(『経済研究』第22巻第1号, 1971年1月, 1~10ページ)。
- [234] 山田秀雄「19世紀後半におけるマラヤ錫鉱業の発展——中国人錫企業の特質をめぐって——」(『経済研究』第25巻第4号, 1974年10月, 322~335ページ)。
- [235] 山本一巳「独立後のマレーシアの国内労働力移動——農村労働力を中心として——」(『アジア経済』第18巻第6・7号, 1977年7月, 51~63ページ)。
- [236] 山本一巳「マレーシアにおける地域開発——格差の実態と地域開発の実践——」(『アジア経済』第19巻第8号, 1978年8月, 90~105ページ)。
- [237] 山本一巳「フィリピン」(アジア経済研究所編『発展途上国の繊維産業』研究双書295, アジア経済研究所, 1980年, 188~207ページ)。
- [238] 游仲勲『華僑経済の研究』調査研究双書164, アジア経済研究所, 1969年。
- [239] 游仲勲「シンガポール, マレーシアの華僑銀行発達略史」(『商大論集』第24巻第1・2・3号, 1972年6月, 139~155ページ)。
- [240] 游仲勲『華僑政治経済論』東洋経済新報社, 1976年。
- [241] 吉田幹正「タイの農村開発行政と地方分権化」(『アジア経済』第25巻第8号, 1984年8月, 18~30ページ)。
- [242] Yoshihara, Kunio, *The Rise of Ersatz Capitalism in South-East Asia*, シンガポール, Oxford University Press, 1988年。
- [243] 米倉等「西スマトラにおける水稻生産の発展——その要因と影響——」(I) (II) (『アジア経済』第25巻第2号, 1984年2月, 42~61ページ; 第25巻第3号, 1984年3月, 47~58ページ)。
- [244] 米倉等「スク・ベザントリの特質と存立構造——西スマトラの社会経済分析

- 」([124] 所収, 185~237ページ)。
- [245] 米倉等「ジャワ農村における階層構成と農業労働慣行」(『アジア経済』第27巻第4号, 1986年4月, 2~35ページ)。
- [246] 米倉等「高収量品種の普及と農民の組織化——西スマトラの事例——」(滝川勉編『東南アジアの農業技術変革と農村社会』研究双書355, アジア経済研究所, 1987年, 91~115ページ)。
- [247] 渡辺利夫『マレーシアの所得分配構造』研究参考資料244, アジア経済研究所, 1975年。
- [248] 渡辺利夫「マレーシアの人種間所得分配構造」(『アジア経済』第16巻第8号, 1975年8月, 75~89ページ)。
- [249] 渡辺利夫『成長のアジア停滞のアジア』東洋経済新報社, 1985年。
- [250] 渡辺利夫編『もっと知りたいASEAN』弘文堂, 1991年。

